

据え置き型リフト **リーチ**

取扱説明書

目 次



○注意事項	・	・	・	・	・	・	P 1
○各部名称	・	・	・	・	・	・	P 2
○設置レイアウト	・	・	・	・	・	・	P 3
○事前調査	・	・	・	・	・	・	P 4
○事前準備	・	・	・	・	・	・	P 5
○設置方法	・	・	・	・	・	・	P 7
○手すり高さ調整方法	・	・	・	・	・	・	P 11
○使用方法	・	・	・	・	・	・	P 12
○レバーストッパー調整方法	・	・	・	・	・	・	P 13
○分解方法	・	・	・	・	・	・	P 13
○運搬・保管方法	・	・	・	・	・	・	P 16
○お手入れ方法	・	・	・	・	・	・	P 16
○点検項目	・	・	・	・	・	・	P 17
○このようなときには	・	・	・	・	・	・	P 17
○仕様	・	・	・	・	・	・	P 18

安全にお使いいただくために

この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前に取扱説明書を確認の上、正しくお使いください。確認後は、本取扱説明書を大切に保管してください。また利用者様の身体状況や環境が変化した場合には、福祉用具専門相談員などの専門の方に相談し適切な処置を受けてください。

安全上の注意 必ずお守りください

①利用者様や他の人への危害・財産への損害などを未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

取扱説明書に表示されている記号や用語は、表示内容を見逃し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分であらわしています。

⚠ 警告：死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

⚠ 注意：障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より満足に使用していただくためのアドバイスを意味します。

②お守りいただく内容の種類を次の表示区分であらわしています。

⊘：してはいけない「禁止」を意味します。

⚡：必ず実行していただく「強制」を意味します。



警告

- ① 本製品は車いす専用のリフトです。本来の目的以外に使用しないでください。
思わぬ事故やケガにつながるおそれがあります。
- ② 本製品を改造しないでください。
破損や事故につながるおそれがあります。
- ③ 本製品には正しい向きがあります。表裏／上下逆にして使用しないでください。
思わぬ事故やケガにつながるおそれがあります。
- ④ ほかの製品を組み合わせ使用しないでください。
破損や事故につながるおそれがあります。
- ⑤ 本製品は屋内専用の昇降リフトです。屋外では使用しないでください。
- ⑥ 搭乗定員は1名です。
定員を超えると故障・落下事故の原因となります。
- ⑦ 最大耐荷重は150kgまでです。車いすなども含め、総重量が150kgを超える状態では使用しないでください。
故障や落下により事故につながるおそれがあります。
- ⑧ 夜間に使用される場合は、照明器具などを用いて十分な明るさを確保してください。
落下や転倒により事故につながるおそれがあります。
- ⑨ 壁面やあがりかまちなどのすき間に注意してください。
落下やはさみ込みによる事故、家屋の破壊につながるおそれがあります。
- ⑩ 最大使用可能段差を超える場所では使用しないでください。
- ⑪ ガタつきが発生する場所では使用しないでください。
- ⑫ 必ず介護者と一緒に使用してください。
- ⑬ 昇降時は車いすのブレーキをかけて使用してください。
- ⑭ 昇降時はペットなどが下に入り込まないよう周辺を確認して操作してください。
- ⑮ リフトを使用後はテーブルを下げた状態にしてください。
- ⑯ 下降時はテーブルの下に手や足を入れないでください。
手や足をはさまれてケガをするおそれがあります。
- ⑰ 設置場所は平らな固い床面にしてください。
- ⑱ テーブルの下に物などを置かないでください。
- ⑲ 昇降時には、利用者様の身体や車いすの足置きがテーブルからはみ出さないようにしてください。
また、常に利用者様や車いすの状態に注意し、昇降動作によるはさみ込みや干渉が起こらないよう注意してください。
- ⑳ 車いすの4輪がすべてテーブルの上を通過するように気をつけてゆっくりと乗り込んでください。
- ㉑ フットポンプの上に上がらないでください。
- ㉒ テーブル上で手すりを使って立ち上がったりしないでください。
転倒・転落するおそれがあります。
- ㉓ 土や砂、雪などが走行面にある場合は、必ず清掃して使用してください。
滑って転倒・転落するおそれがあります。
- ㉔ 異音など昇降動作に異常がある場合は、使用しないでください。
- ㉕ あがりかまちに乗り降りする場合は、テーブルとあがりかまちの高さをそろえて使用してください。
落下や転倒により事故につながるおそれがあります。
- ㉖ 車いすの足置きや転倒防止バーが走行面に接触しないように調整してください。
走行するときに引っかかり、事故につながるおそれがあります。



注意

- ① ネジやアンカーで固定して使用しないでください。
破損や変形の原因になります。
- ② 運搬時には物などに接触させたり、落下させないように注意してください。
破損するおそれがあります。
- ③ 本製品の上で跳びはねたりしないでください。
破損するおそれがあります。
- ④ 長期間設置した場合は、床面にアジャスターの跡が残るおそれがあります。
- ⑤ 保護カバーを取り付けて使用してください。
思わぬ事故やケガにつながるおそれがあります。
- ⑥ フットポンプをフレームから分離して使用する場合は、油圧ホースをはさまないように注意してください。

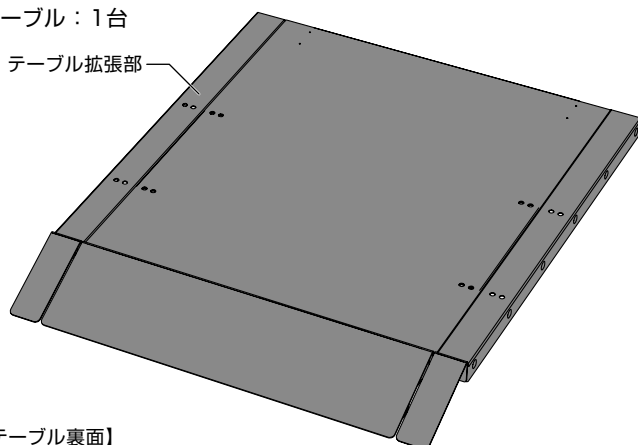
各 部 名 称

以下の部品が全てそろっているか、破損・変形などしていないかを確認してください。
万が一、部品の不足・破損があった場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

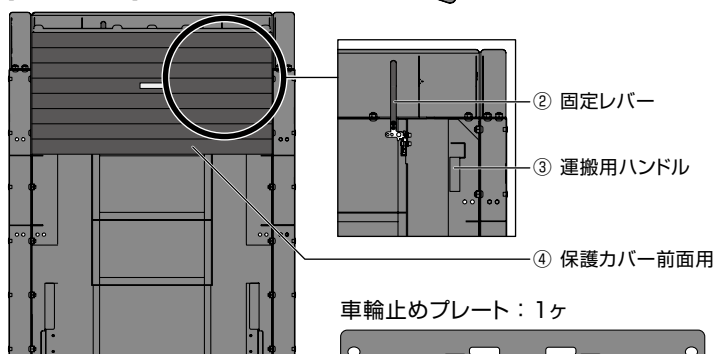
リーチ本体

テーブル：1台

① テーブル拡張部



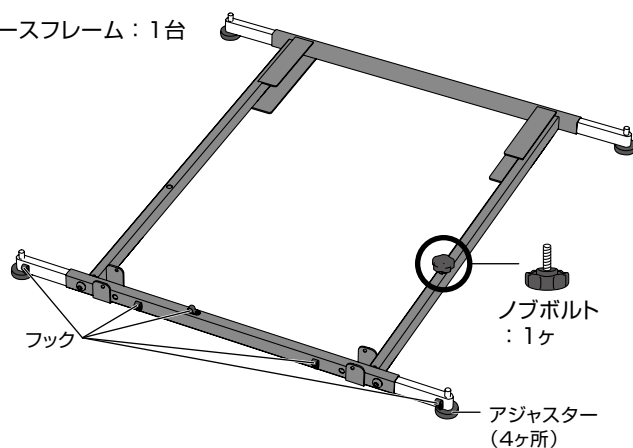
【テーブル裏面】



車輪止めプレート：1ヶ

※スモールタイプにはテーブル拡張部がありません。

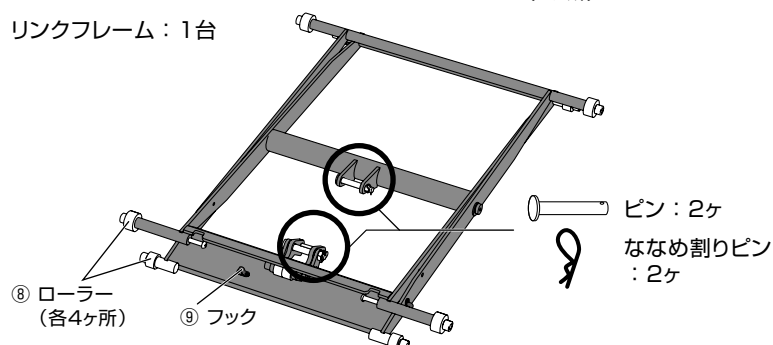
ベースフレーム：1台



ノブボルト
：1ヶ

アジャスター
(4ヶ所)

リンクフレーム：1台



ピン：2ヶ

ななめ割りピン
：2ヶ

フットポンプ

フットポンプ：1台

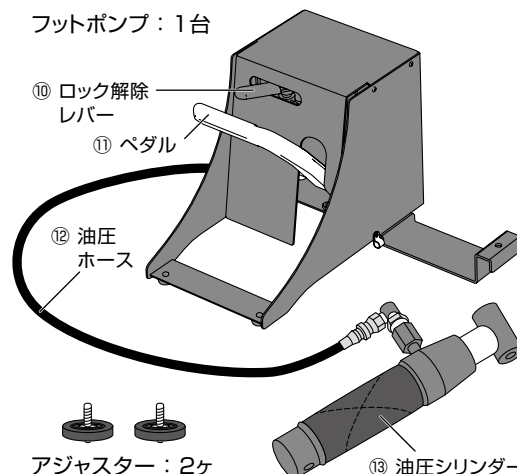
⑩ ロック解除
レバー

⑪ ペダル

⑫ 油圧
ホース

アジャスター：2ヶ

⑬ 油圧シリンダー



転落防止用ガード

転落防止用ガード：ショート・ロングタイプ／1ヶ
スモールタイプ／2ヶ



ボルト：ショート・ロングタイプ／4ヶ
スモールタイプ／8ヶ

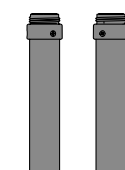


ナット：ショート・ロングタイプ／4ヶ
スモールタイプ／8ヶ

手すり

手すり：1台

支柱台：2ヶ



ボルト：4ヶ



※スモールタイプには手すりが付属していません。

付属品



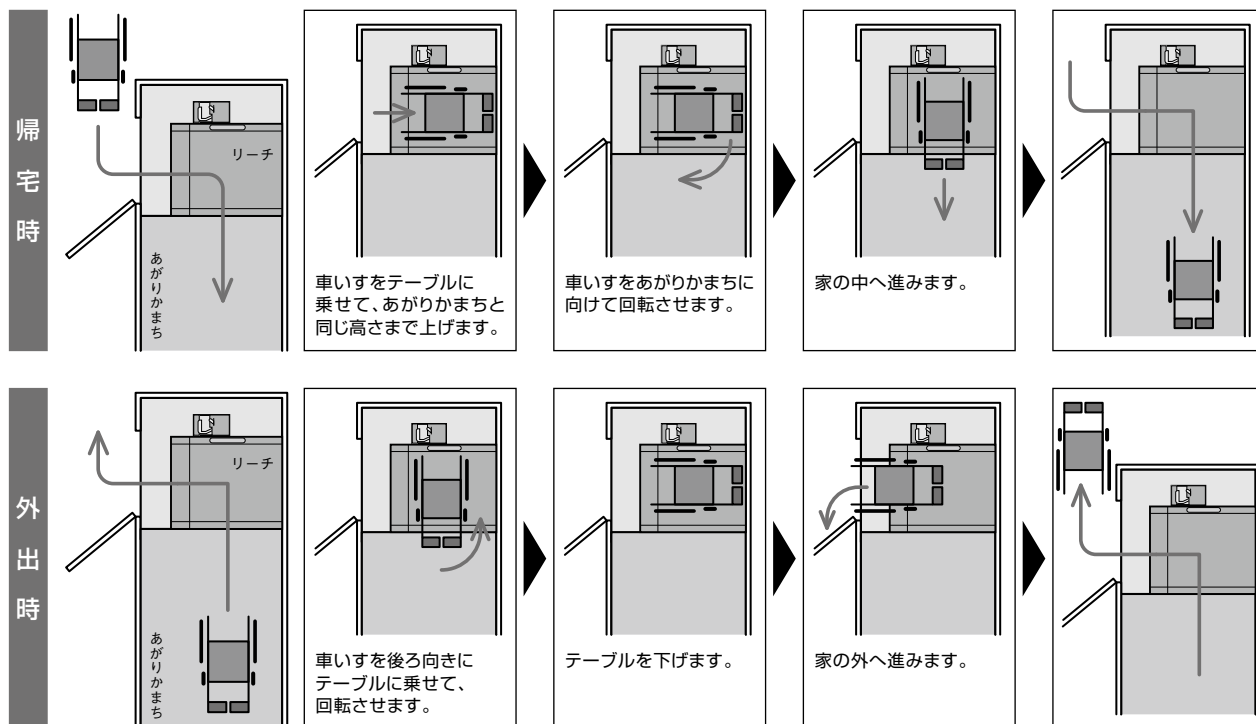
●取扱説明書
兼 保証書：1部

設置レイアウト

玄関とあがりかまちの位置関係からレイアウトを決めます。

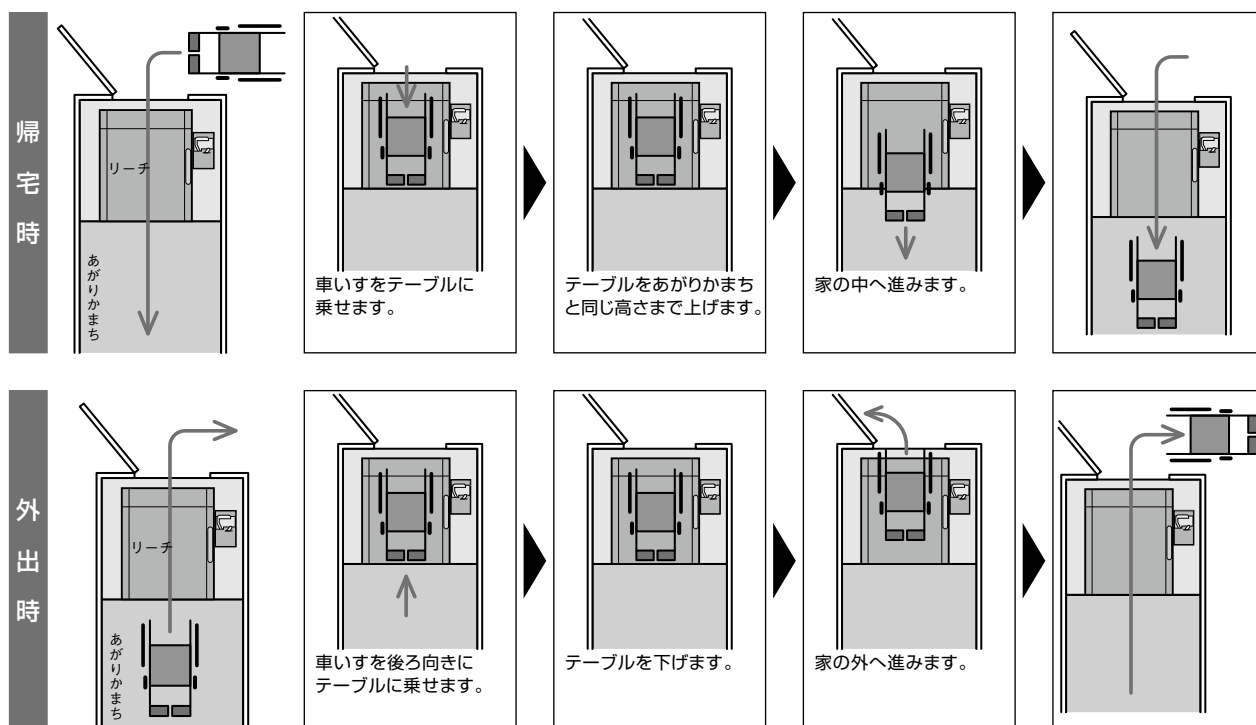
玄関ドアに対して右側や左側にあがりかまちがある場合【回転使用】

テーブル上で車いすを回転させるため、テーブル幅は最大の90cmで使用してください。



玄関ドアの正面にあがりかまちがある場合【直進使用】

設置スペースに合わせてテーブル幅が3段階(76cm/83cm/90cm)に調整できます。



設置レイアウト

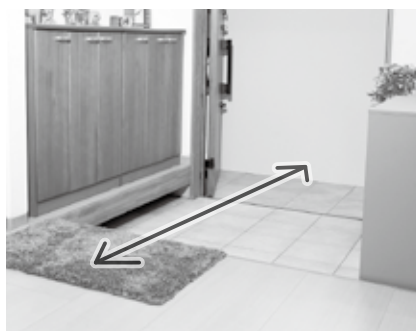
設置例

玄関（あがりかまち）の段差

玄関ドアに対して右側か左側に
あがりかまちがある場合



玄関ドアの正面に
あがりかまちがある場合



動画でチェック



こちらからリーチ
使用方法の動画が
見られます。

事前調査

リーチを設置する前に住宅環境を調査し、レイアウトを決めます。

1 使用方向を決めます。

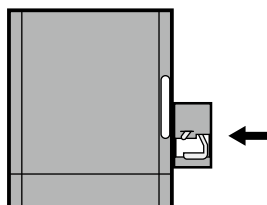
玄関ドアに対してあがりかまちがどこにありますか？

- 右側（または左側）…回転使用
- 正面……………直進使用

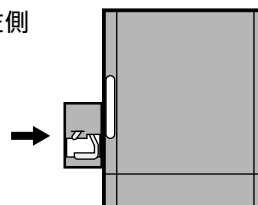
2 フットポンプの位置を決めます。

リーチの左右どちら側に設置しますか？

●右側



●左側



※手すりもフットポンプと同じ側に設置します。

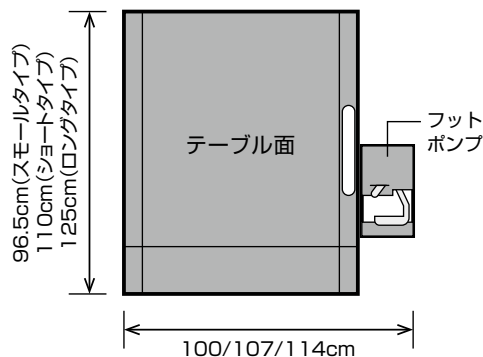
※フットポンプを固定せず、自由な場所へ設置することもできます。ガタつきがある場合は、フットポンプ底面のアジャスターを調整してください。

3 スペースを確認します。

玄関のスペースに、前記で決めたレイアウトでリーチが設置できるか確認します。

4 テーブルの幅を決めます。

- 回転使用…90cm：テーブル拡張部を両方付けた状態
※テーブル拡張部を片方または両方取り外した状態では使用できません。
- 直進使用…3段階で調整
※テーブルの幅は通常90cmでのご使用が基本ですが、玄関スペースにより幅狭で使うこともできます。
 - ・90cm：テーブル拡張部を両方付けた状態
 - ・83cm：テーブル拡張部を片方のみ付けた状態
※左右どちらを外しても、完成状態は同じです。
 - ・76cm：テーブル拡張部を両方外した状態



※ポンプを固定しない場合：76/83/90cm
※スモールタイプにはテーブル拡張部がありません。

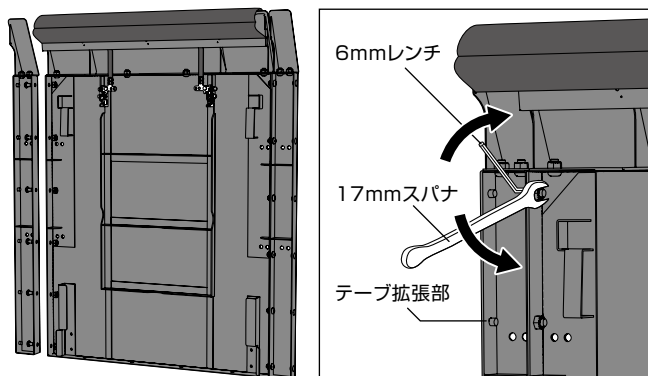
事前準備

事前調査で決定した「テーブル幅」に従って、「テーブル」「ベースフレーム」「フットポンプ」を調整します。

	テーブル幅		
	90cm	83cm	76cm
テーブル		 テーブル拡張部を片方取り外します。	 テーブル拡張部を両方取り外します。
ベースフレーム		 テーブル拡張部を外した方のアジャスターを縮めます。	 アジャスターを両方縮めます。
フットポンプ	【テーブル拡張部あり】 【テーブル拡張部なし】 フットポンプの位置、テーブル拡張部の有無に対応した位置に、固定用ブラケットを固定します。		

6mmの六角レンチと17mmのスパナが必要です。工具は付属していません。

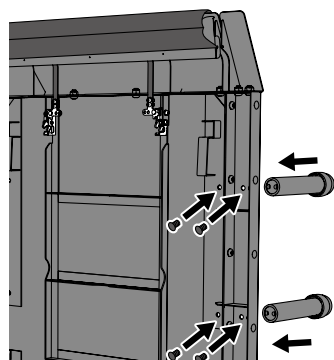
1 テーブルを準備します。



①テーブルを裏面にし、保護カバーをめくってください。

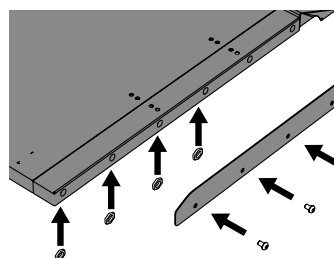
②テーブル幅を83cmまたは76cmで使用する場合は、テーブル拡張部を取り外してください。

6mmの六角レンチと17mmのスパナを使って片側6ヶ所のボルトを外してテーブル拡張部を取り外します。



③テーブルに支柱台を取り付けます。

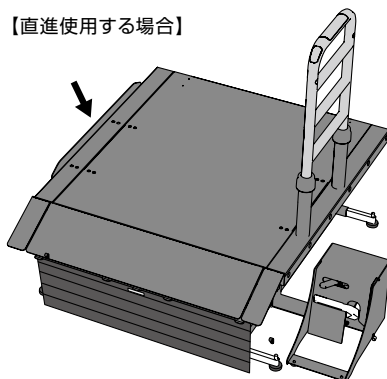
① フットポンプと同じ側に取り付けてください。



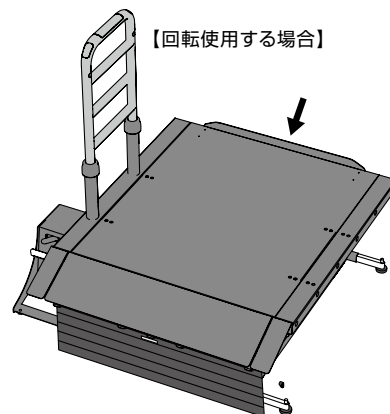
④転落防止用ガードをボルトとナットで取り付けます。

※スモールタイプは下図の手すりのある側にも取り付けます。(合計2ヶ所)

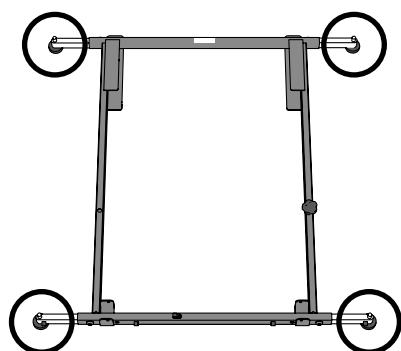
【直進使用する場合】



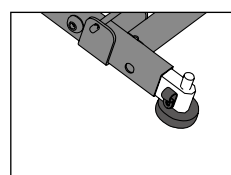
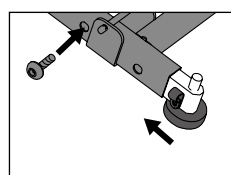
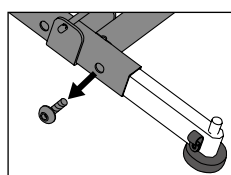
【回転使用する場合】



2 ベースフレームを準備します。



テーブル幅83cmまたは76cmで使用する場合は、ベースフレームの幅調整部のボルトを6mmの六角レンチを使って外し、穴の位置をずらして調整し、ボルトで固定してください。(4ヶ所)

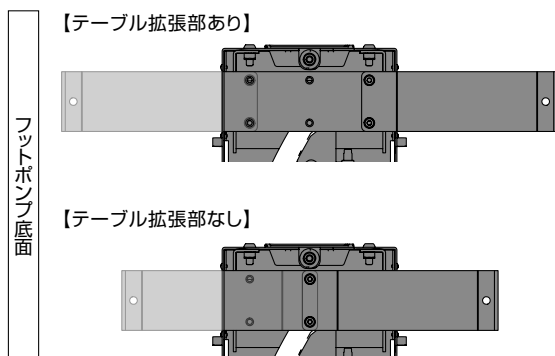


① 外した「テーブル拡張部」側の足を縮めてください。

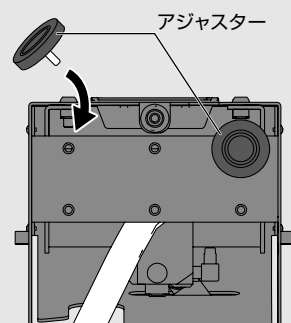
事前準備

3 フットポンプを準備します。

フットポンプの位置、テーブル拡張部の有無に対応した位置に、固定用ブラケットを固定します。



フットポンプを自由な場所
で使用する場合は、付属の
アジャスターを取り付けて
ください。また必要に応じて
アジャスター高さを調整して
ください。

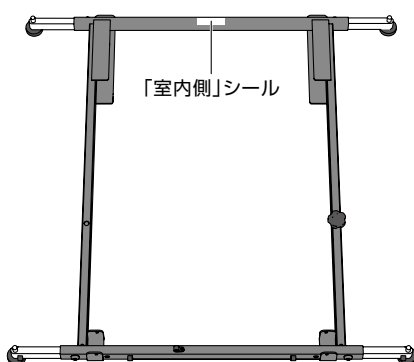


設置方法

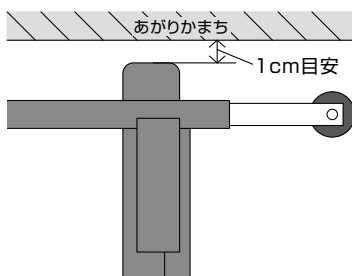
1 フレームを設置します。

①「室内側」シールが室内側になるようにベースフレームを置きます。

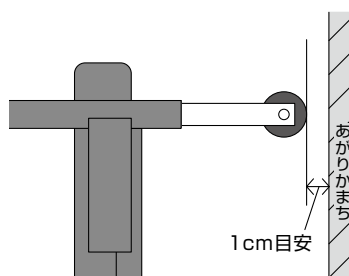
ベースフレームは進行方向のあがりかまちに対して1cm(目安)離して位置を決めます。



【直進使用の場合】



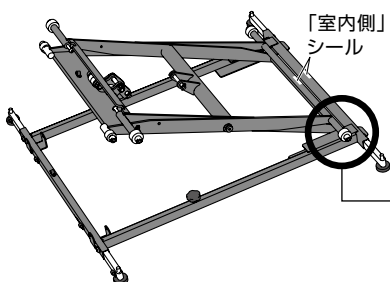
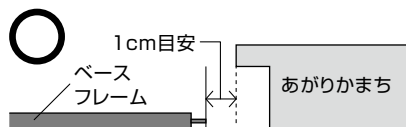
【回転使用の場合】



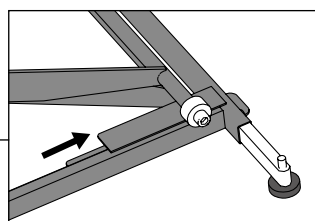
あがりかまちは上部が突出している場合は内側に入り込まないように設置してください。



注意



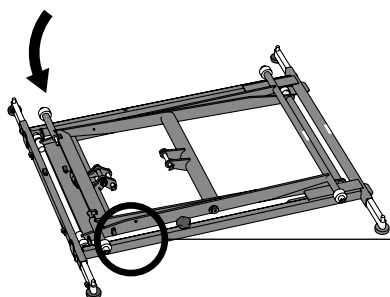
②リンクフレームをベースフレームの上に乗せます。



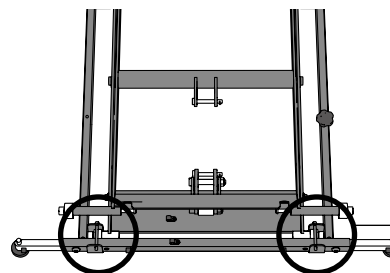
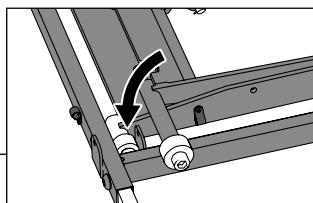
「室内側」シールのある側の溝に内側のローラー
を乗せ、奥にスライドさせながらリンクフレーム
を手前に倒します。

※「室内側」シールを同一方向で合わせてください。

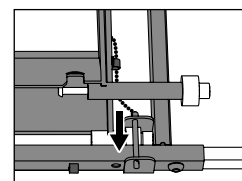
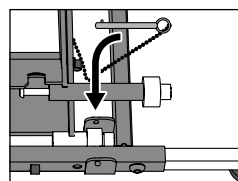
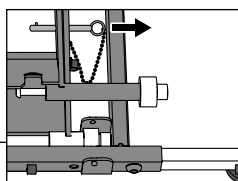
設置方法



③内側のローラーを両側の溝にはめ込みます。



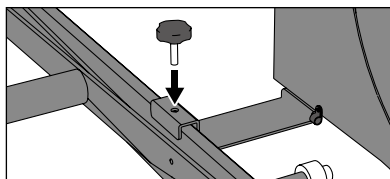
④リンクフレームから固定ピンを外し、フレーム連結用の穴に通して固定します。
(2ヶ所)



注意

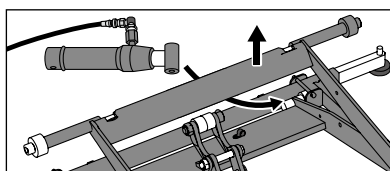
固定ピンは必ずフレーム連結用の穴に固定してください。
転倒および製品破損のおそれがあります。

2 フットポンプを取り付けます。

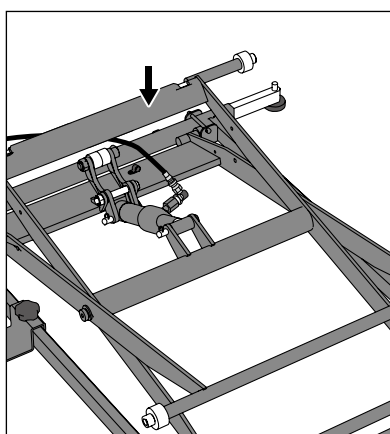


①フットポンプをベースフレームに固定します。

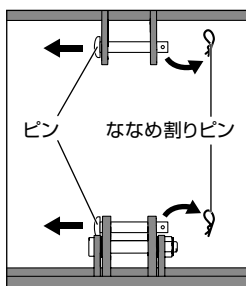
ベースフレームのノブボルトを外し、フットポンプの固定用ブラケットをベースフレームの穴に合わせ、ノブボルトをしめて固定します。



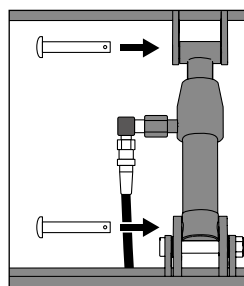
②リンクフレームを軽く持ち上げながらフットポンプの油圧シリンダーをベースフレームとリンクフレームの間に通します。



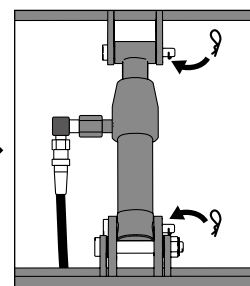
③リンクフレームを下ろして油圧シリンダーをリンクフレームに取り付けます。



ななめ割りピンを外してリンクフレームからピンを抜きます。



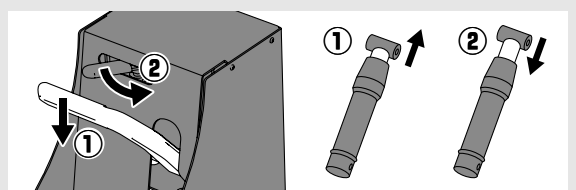
油圧シリンダーをリンクフレームにはめ込み、ピンを差します。



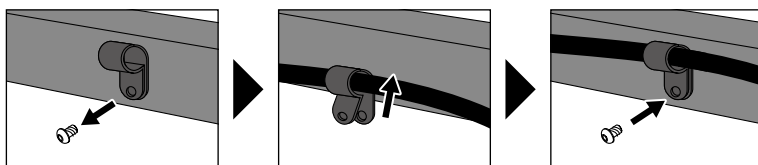
ななめ割りピンをピンの穴に通して固定します。

油圧シリンダーの穴とリンクフレームの取付穴が合わない場合は、以下により穴位置を調整して取り付けてください。

- ①フットペダルを踏んでシリンダーを伸ばす。
- ②ロック解除レバーを引きながら力を加えて油圧シリンダーを縮める

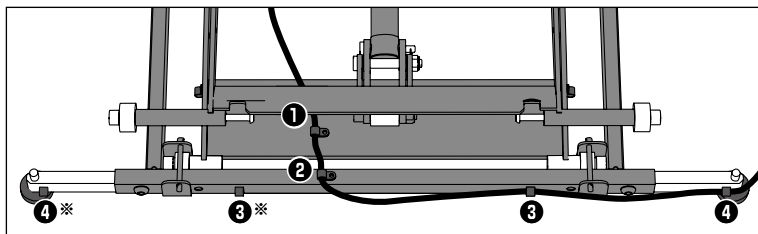


設置方法



④リンクフレーム(1ヶ所)・ベースフレーム(3ヶ所)のフックのネジを外して、油圧ホースをフックにくぐらせ、リンクフレームおよびベースフレームの元の場所に取り付けます。

※フットポンプのペダルを3回踏んでリンクフレームを少し上げておくことと以後の作業が行い易くなります。

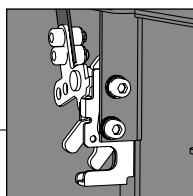
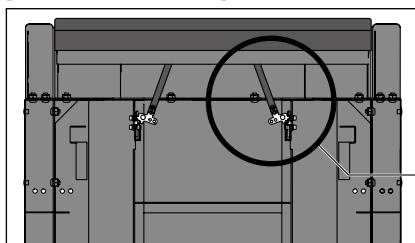


※フットポンプが左側につく場合

3 テーブルを取り付けます。

【ロックが開いている状態】

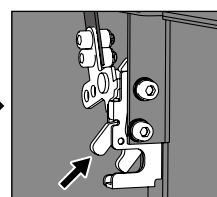
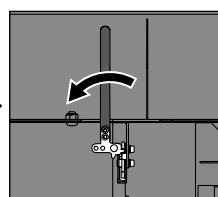
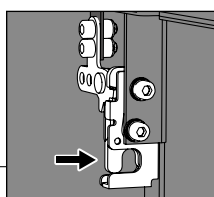
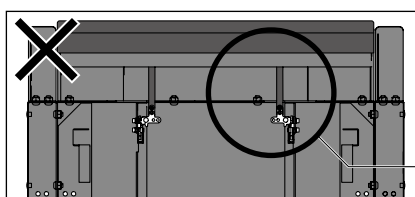
①テーブルロックの確認



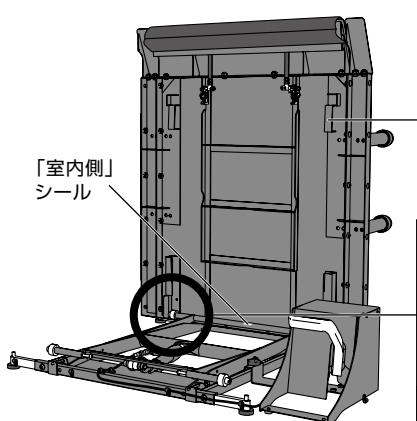
テーブル裏面のロックが開いているか確認します。ロックが閉じた状態の場合は、固定レバーを内側に倒してロックを開けてください。

※ロックが閉じた状態でテーブルを組んでしまうと、テーブルが本体フレームに固定されず大変危険な状態となります。

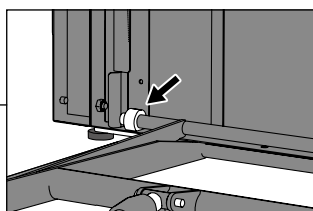
【ロックが開いていない状態】



固定レバーを内側に倒してロックを開きます。



運搬用ハンドル
ここを持って運びます。



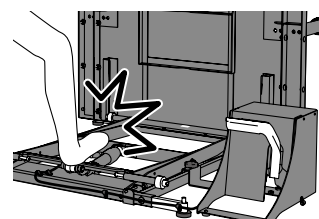
②フットポンプのペダルを3回踏んでリンクフレームを少し上げた状態にし、テーブル裏面の溝にフレームのローラー部分を合わせます。(2ヶ所)

※「室内側」シールを同一方向で合わせてください。

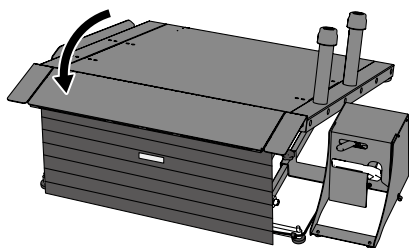


注意

テーブルを乗せるときに、フレーム及び油圧シリンダーを踏まないでください。
転倒および製品破損のおそれがあります。



設置方法



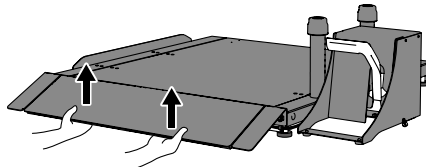
③手前に引っ張りながらゆっくりテーブルをフレームに乗せます。

下ろして手を離すと、自然にテーブルがスライドし、「カチッ」という音がしてロックがかかります。



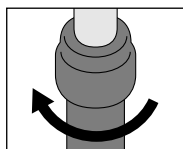
警告

テーブルを軽く持ち上げて、ロックがかかっていることを確認してください。
ロックが不完全な場合は、使用中にテーブルが外れ、事故につながるおそれがあります。

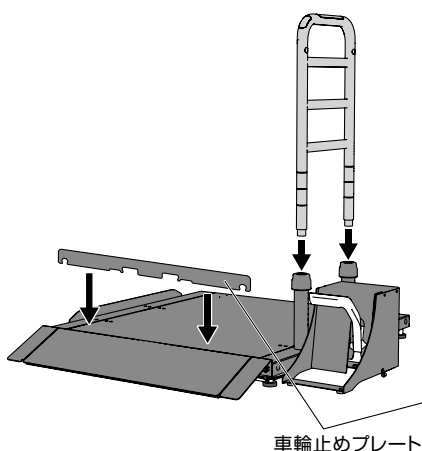


④手すりを取り付けます。

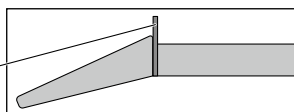
※スモールタイプには手すりが付属していません。



支柱台に手すりをはめ込み、キャップをしめます。



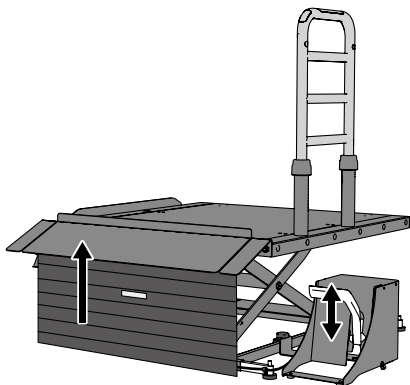
⑤車輪止めプレートを取り付けます。



テーブルと前方傾斜部分の間に差し込みます。
(差し込むだけで固定できます。)

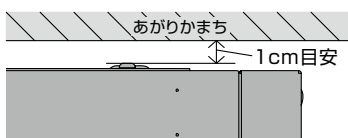
4 設置状態を確認します。

①フットポンプを操作し、上昇・下降がスムーズに行えるか確認します。

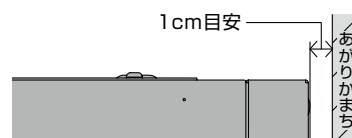


②あがりかまちとの位置関係を確認します。
(すき間1cm目安)

【直進使用の場合】

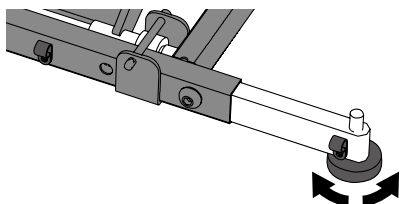


【回転使用の場合】



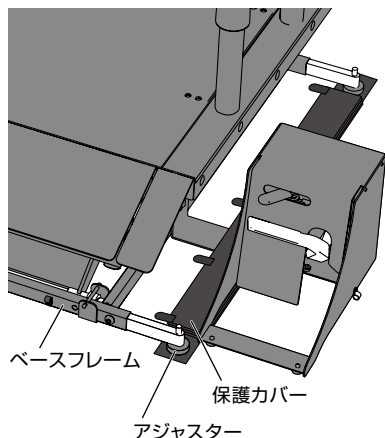
③テーブルがかたむいていないか、ガタつきはないか確認します。

ベースフレームの端にあるアジャスター(4ヶ所)を回して調整してください。



設置方法

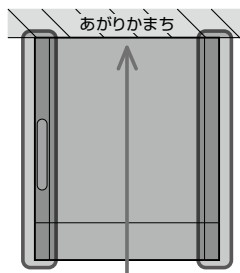
保護カバー側面用を取り付けます。(オプション)



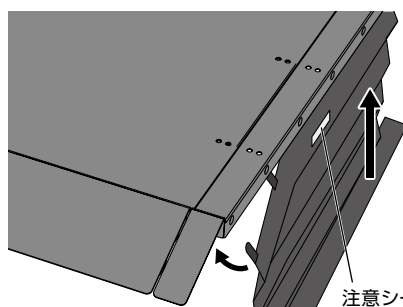
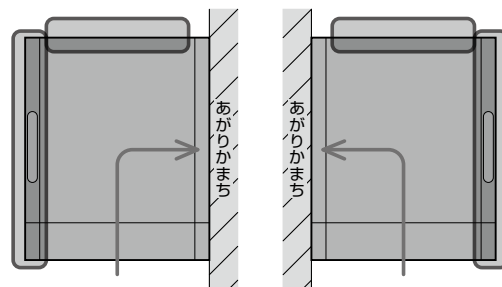
保護カバー側面用(オプション)が必要な場合には、以下の方法で取り付けてください。

- ①保護カバーを広げたときに注意シールが外側を向くように置き、保護カバー両端を取り付け側ベースフレームのアジャスターに踏ませてください。
※回転使用の場合は、必ず拡張部を両方取り付けた状態(全幅114cm)で使用してください。

【直進使用の場合】

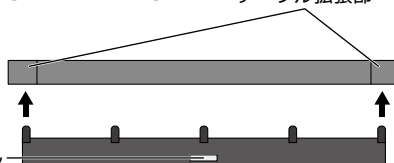


【回転使用の場合】



- ②折りたたまれた保護カバーを伸ばして、テーブル側面の内側に取り付けます。
※マグネットなので簡単に取り付けられます。

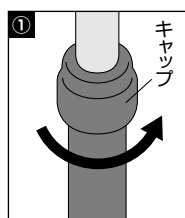
【奥側から見た図】



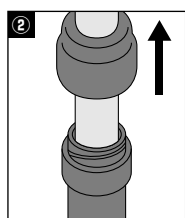
回転使用で奥側に取り付ける場合は、両端のマグネットをテーブル拡張部に取り付けてください。

手すり高さ調整方法

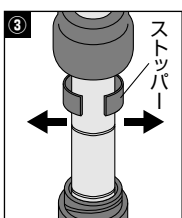
手すりの高さは通常一番低い70cmでのご利用が基本ですが、3段階(70/75/80cm)に設定できます。以下の手順で設定してください。



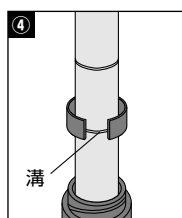
① キャップをゆるめます。



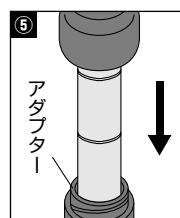
② 手すりを引き上げます。



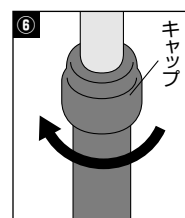
③ ストッパーを開いて設定します。



④ 溝にストッパーが固定されているか確認します。



⑤ 手すりを下げ、ストッパーが完全にアダプターに入っているか確認します。



⑥ キャップをしめて高さ調整は完了です。必要以上にしないください

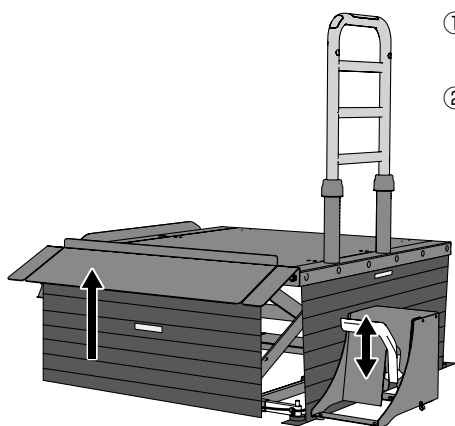


警告

手すりを下げる場合は、キャップより下側を持って下げないようにしてください。
手すりアダプターのすき間に指や手をはさみ、ケガをするおそれがあります。

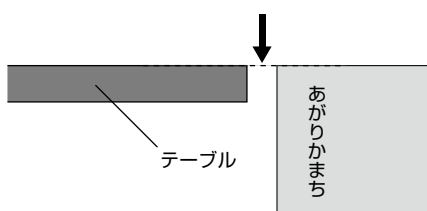
フットポンプの使い方

1 リフトを上げます。



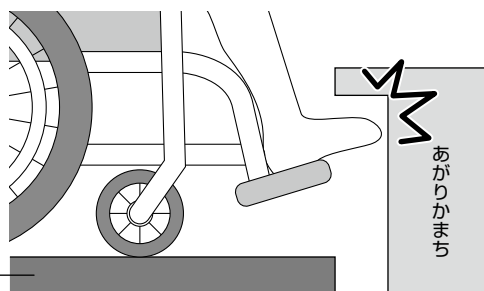
①フットポンプのペダルを踏み込むとリフトが上昇します。

②あがりかまちとテーブルが同じ高さになるように合わせます。



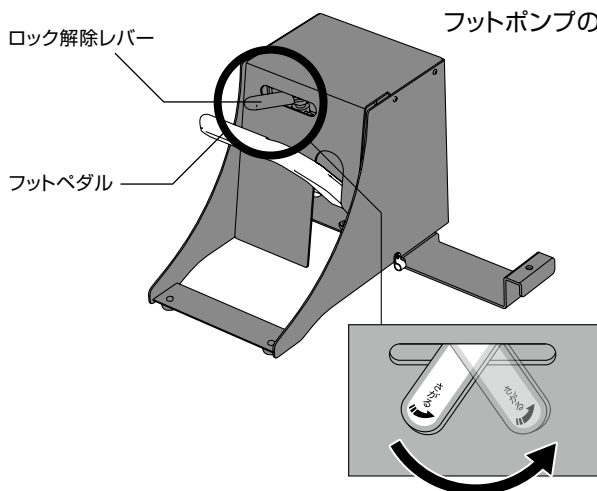
警告

あがりかまちの上部が突出している場合は、足先が内側へ入り込まないように注意してください。
上昇時に足をはさみ込み、ケガをするおそれがあります。



テーブル

2 リフトを下げます。

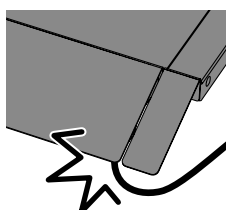


フットポンプのロック解除レバーを右方向に引きます。



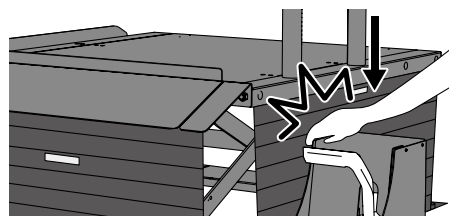
注意

ポンプを固定しない場合は、油圧ホースをテーブルにはさまないように注意してください。
油圧ホースが破損するおそれがあります。

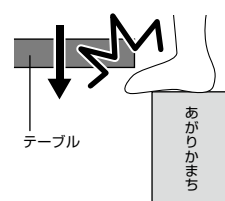


警告

①テーブルを下げるときはポンプ上面のテーブル側に手や足を置かないでください。
はさみ込んでケガをするおそれがあります。



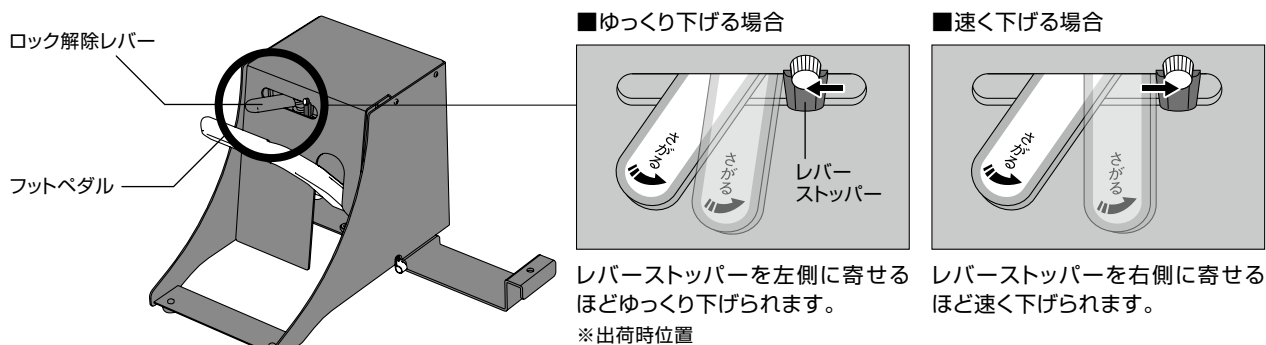
②テーブルをあがりかまちより高く上げた場合は、そのすき間に手や足を入れないでください。
下降時にはさみ込んでケガをするおそれがあります。



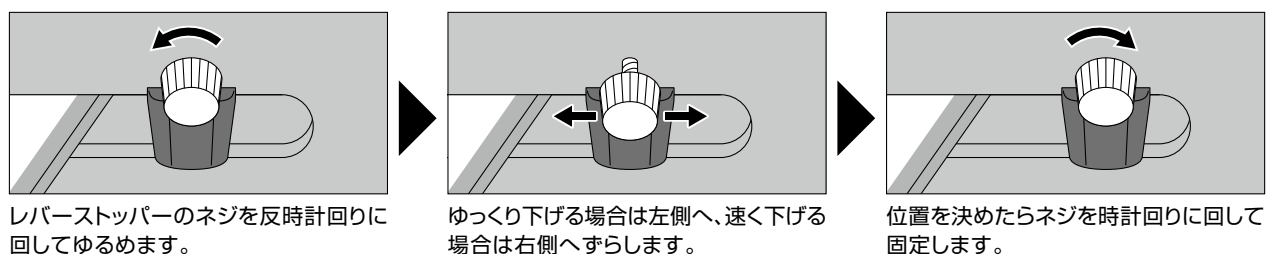
レバーストッパー調整方法

レバーストッパーの位置を調整し、ロック解除レバーを適度な位置で止めることにより、テーブルの下がるスピードが制限できます。

※出荷時はゆっくり下げる左寄りの位置にあります。

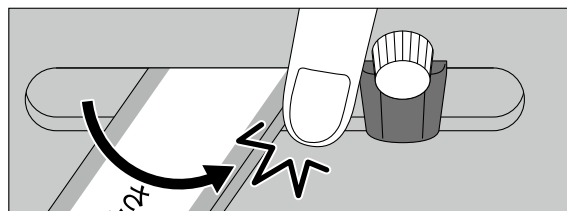


レバーストッパーの調整方法



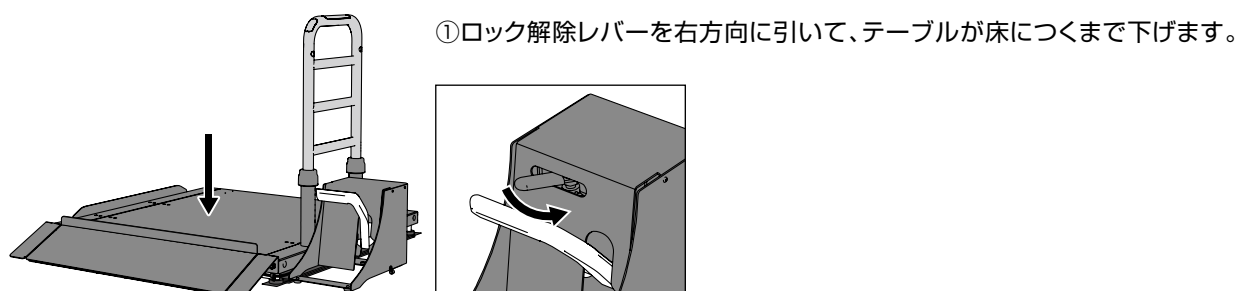
警告

ロック解除レバーとレバーストッパーの間に指を入れないでください。
指をはさみ込み、ケガをするおそれがあります。

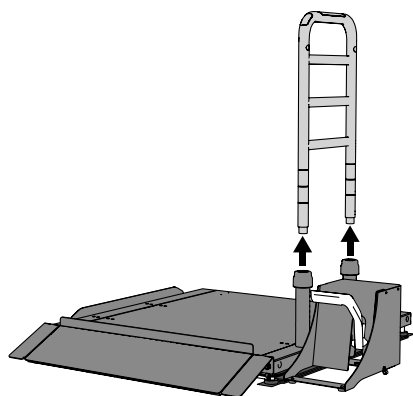


分解方法

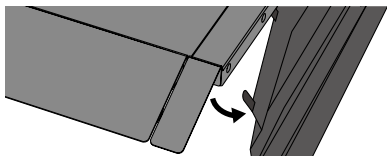
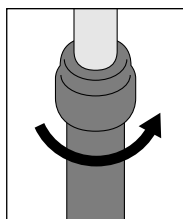
1 手すりとテーブルを取り外します。



分解方法

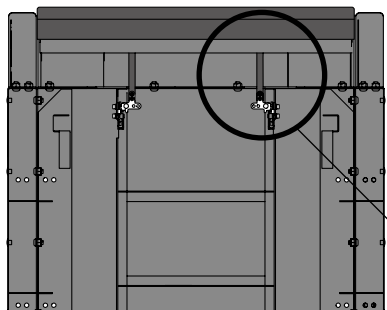


②手すりキャップをゆるめて支柱台から手すりを取り外します。

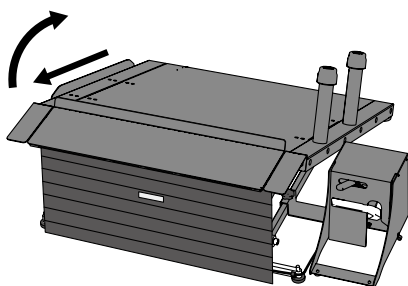
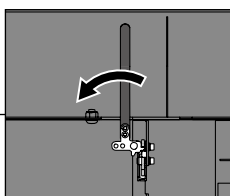


③フットポンプのペダルを3回踏んでテーブルを少し上げてください。

※オプションの「保護カバー側面用」を取り付けている場合は、マグネットを取り外し、ベースフレームの下から引き抜いてください。



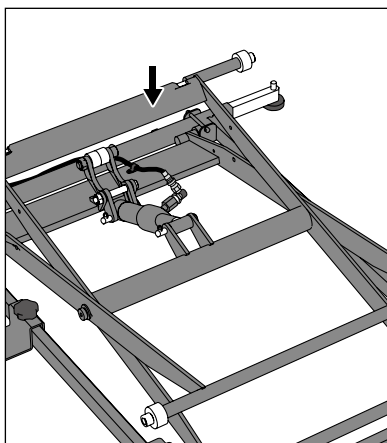
④テーブル裏面の固定レバーを内側に倒しテーブルロックを解除します。



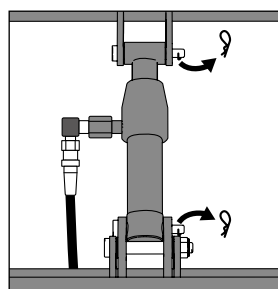
⑤手前に軽く引っ張りながら押し上げてテーブルを取り外します。

2 フットポンプを取り外します。

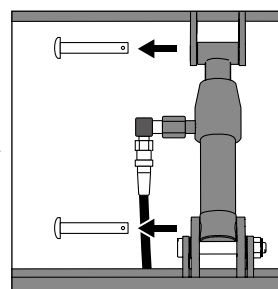
①再度ロック解除レバーを右方向に引いて、リンクフレームを上から手で押し、完全に下げます。



②油圧シリンダーをリンクフレームから取り外します。



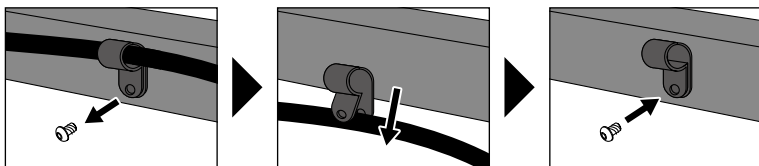
ななめ割りピンを
ピンの穴から抜きます。



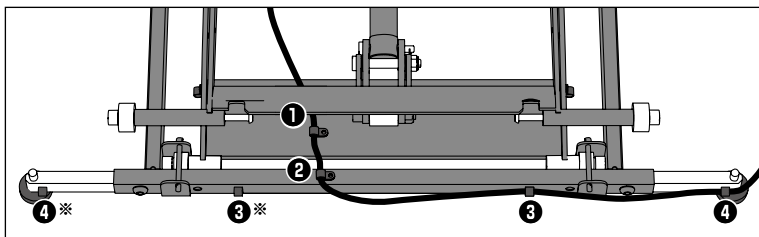
ピンを抜き、油圧シリンダーをリンクフレームから
取り外します。

① 取り外したピンとななめ割りピンはリンクフレームに取り付けておいてください。

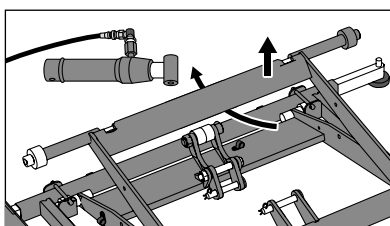
分解方法



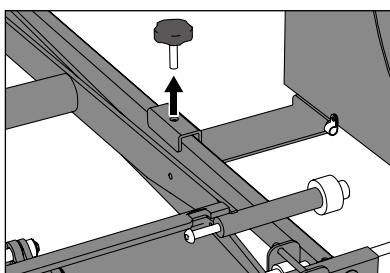
③リンクフレーム(1ヶ所)・ベースフレーム(3ヶ所)のフックのネジを外して、油圧ホースをフックから外し、リンクフレームおよびベースフレームの元の場所に取り付けます。



※フットポンプが左側につく場合

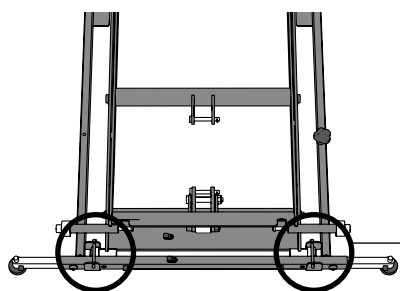


④ポンプの油圧ホースをフレームの間から抜きます。

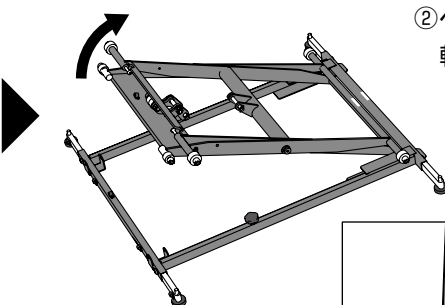
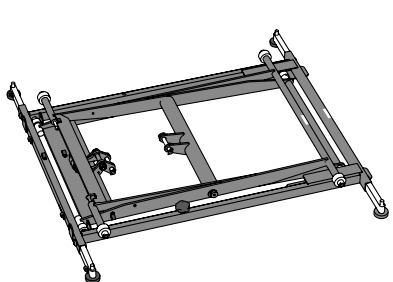
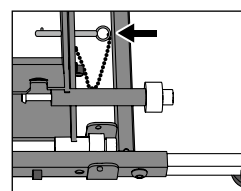
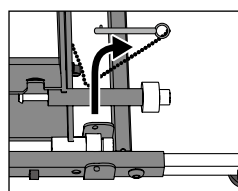
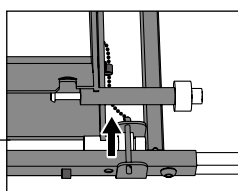


⑤ノブボルトを外してポンプを取り外します。
外したノブボルトはベースフレームに取り付けてください。

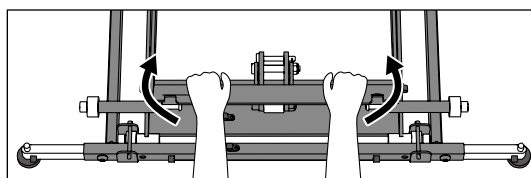
3 フレームを分解します。



①フレーム連結用の穴から固定ピンを外し、リンクフレームに通して固定します。
(2ヶ所)

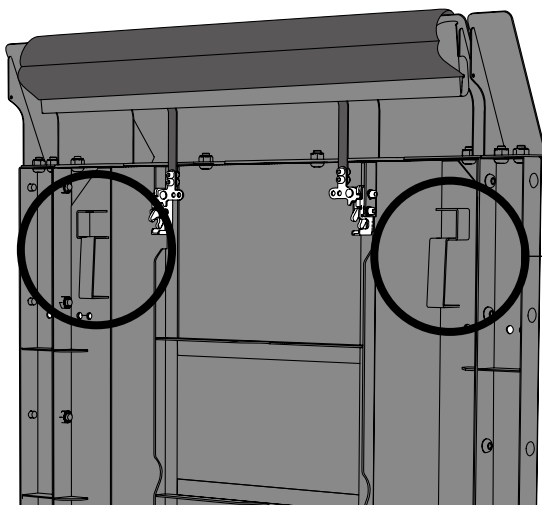


②ベースフレームの手前のフレームを持ち、軽く引きながら持ち上げて外します。

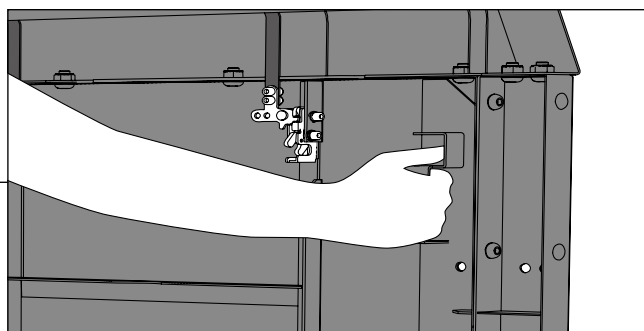


運搬・保管方法

テーブルの運搬方法



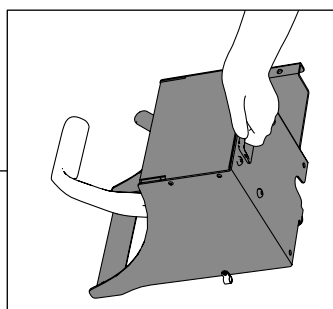
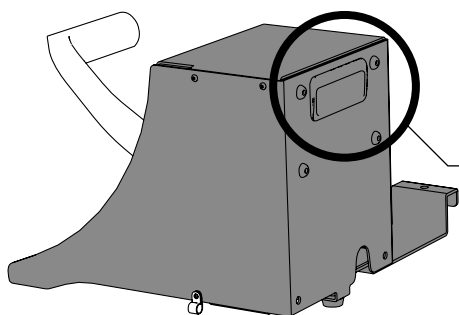
テーブルを運搬する場合は、裏面の運搬用ハンドルを持って運んでください。



注意

足の上に落とさないよう注意してください。

フットポンプの運搬方法



フットポンプを運搬する場合は、裏面の持ち手を持ってください。

保管方法

長期間にわたり使用しない場合は、下記の点にご注意ください。

- ⓪ 他のものと重ねて置いたり、不安定な状態で立て置き保管はしないでください。
- ⓪ 重いものを上に載せないでください。(変形の原因になる場合があります)
- ⓪ 汚れを取り除き、よく乾燥させて保管してください。
- ⓪ 材質や色が変化するおそれがあるので、直射日光の当たらない場所で保管してください。

お手入れ方法

消毒する場合は、アルコール消毒剤などを柔らかい布に吹き付けてから清拭してください。

清拭する場合は、中性洗剤を水で薄め柔らかい布に浸し、よく絞ってから清拭してください。仕上げに乾いた布で拭き取ってください。



- ⓪ 次亜塩素酸を使用する場合は、6%水溶液を100～200倍に希釈して清拭し、仕上げに水拭きしてください。
- ⓪ 有機溶剤(シンナーやベンジンなど)、強酸性洗剤は使用しないでください。
- ⓪ オゾンガスは金属部分に影響を与えるため、使用しないでください。
- ⓪ 60℃以上の温度を加えないでください。
- ⓪ 金属ブラシ、ナイロンたわしなどはキズをつけるため、使用しないでください。

点検項目

下記の点検項目を確認してください。

異常があった場合は、お求めの販売店または(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。

点検項目		確認	
1	テーブルとフットポンプの確認 ・ガタつきはありませんか？	YES ☐	NO P4、P10参照
2	あがりかまちとのすき間の確認(1cm目安) ・テーブルとあがりかまちが接触していたり、すき間が広すぎたりしていませんか？	YES ☐	NO P7、P10参照
3	動作の確認 ・上昇、下降の動作がスムーズにできますか？	YES ☐	NO P10参照
4	油圧ホースと油圧シリンダーの確認 ・油もれをしていませんか？	YES ☐	NO
5	手すりの確認 ・手すりにガタつきはありませんか？	YES ☐	NO P10参照

このようなときには

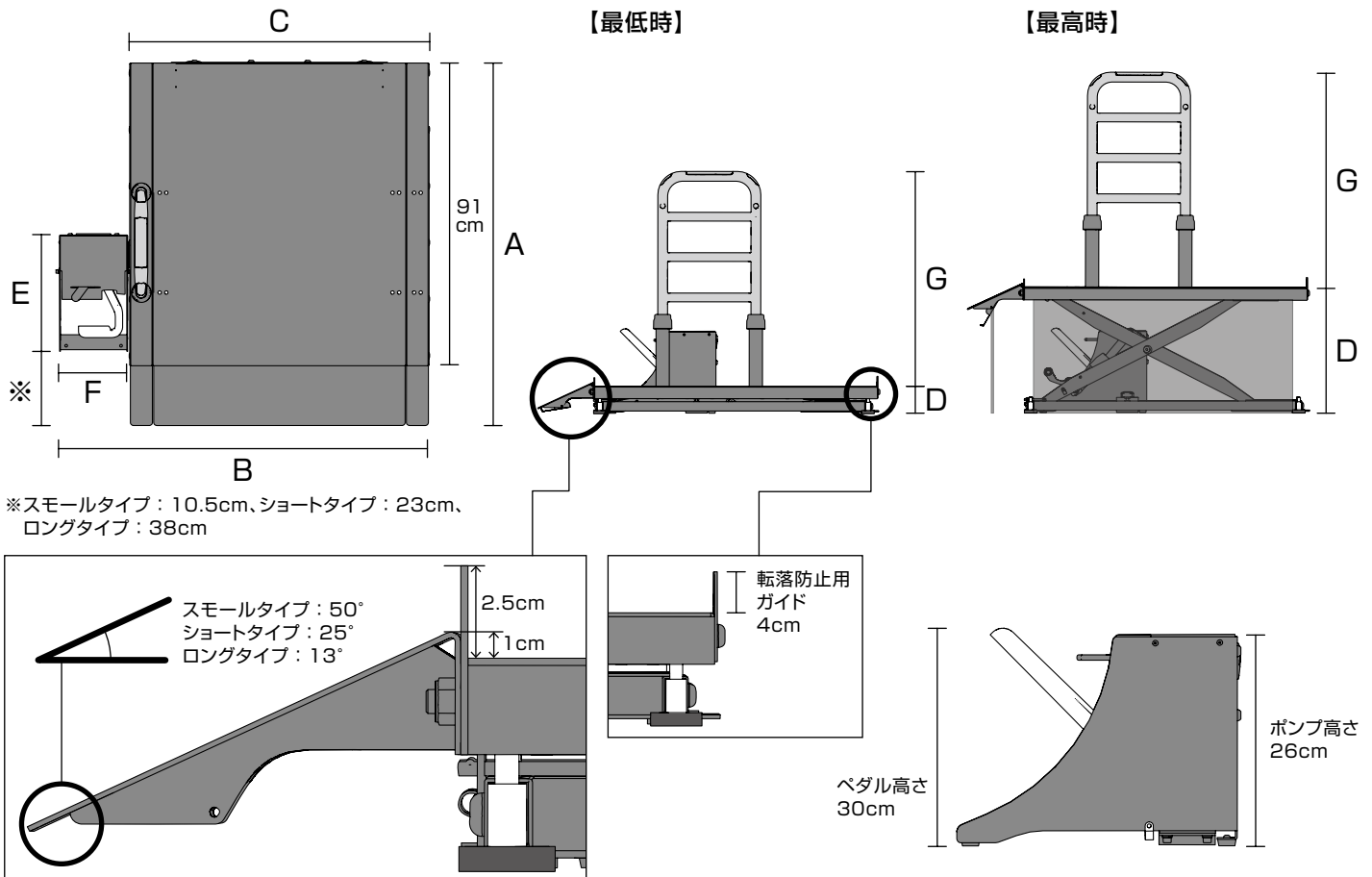
症 状	確 認	処 置
フットポンプの ペダルを踏んでも テーブルが上がらない	油圧シリンダーがリンクフレームに取り付けられていますか？	油圧シリンダーをリンクフレームに取り付けてください。(P8参照)
	ロック解除レバーが何かに引っかかって『下がる』方向へ回ってませんか？	ロック解除レバーを元の位置に戻してください。
	100kg以上の荷重がかかっていませんか？	上昇可能な最大荷重は100kgまでです。(保持は150kg)
上昇具合がおかしい (フワフワする)	油圧機構内にエアが入った可能性があります。	上昇・下降を2～3回繰り返してください。
ロック解除レバーを 引いても テーブルが下がらない	テーブル下側に何か入っていたり、何かに引っかかっていませんか？	引っかかっているものを取り除いてください。
全体がガタつく	アジャスターが浮いていませんか？	アジャスターが浮かないように床面につくまで下げてください。(P10参照)

上記の処置で直らなかった場合、またはその他の現象の場合は、お求めの販売店または
(株)モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。

株式会社 モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口 TEL(082)578-9226

〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日／9:00～17:00 ※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

仕様



名 称	品 番	サイズ		テーブルサイズ			フットポンプサイズ		手すり部高さ (G)	重量
		全長(A)	全幅(B)	長さ(A)	幅(C)	高さ(D)	長さ(E)	幅(F)		
スモールタイプ	MREALTS	96.5cm	100cm	96.5cm	76cm	8~40cm (無段階)	36cm	21cm	——	56kg
ショートタイプ	MREALT	110cm	100／107／ 114cm (3段階調整)	110cm	76／83／ 90cm (3段階調整)				70／75／ 80cm (3段階調整)	62kg
ロングタイプ	MREALTL	125cm		125cm						

※ポンプを固定しない場合の全幅サイズは、スモールタイプ：76cm、ショート・ロングタイプ：76/83/90cmとなります。

リーチ【スモールタイプ】 品番 MREALTS

- 素 材：スチール
- 本体サイズ：最低時=幅100×長さ96.5×高さ8cm
最高時=幅100×長さ96.5×高さ40cm
最大耐荷重(保持)=150kg 最大上昇荷重=100kg
- 重 量：56kg

■2年保証

リーチ【ショートタイプ】 品番 MREALT

- 素 材：スチール
- 本体サイズ：最低時=幅100/107/114(3段階調整)×長さ110×高さ8cm
最高時=幅100/107/114(3段階調整)×長さ110×高さ40cm
手すり部高さ=70/75/80cm(3段階調整)
最大耐荷重(保持)=150kg 最大上昇荷重=100kg
- 重 量：62kg

■2年保証

リーチ【ロングタイプ】 品番 MREALTL

- 素 材：スチール
- 本体サイズ：最低時=幅100/107/114(3段階調整)×長さ125×高さ8cm
最高時=幅100/107/114(3段階調整)×長さ125×高さ40cm
手すり部高さ=70/75/80cm(3段階調整)
最大耐荷重(保持)=150kg 最大上昇荷重=100kg
- 重 量：65kg

■2年保証

開発・製造元

ISO9001 認証取得

ISO13485 認証取得

※床ずれ防止マットレス・体動センサの設計、
製造および付帯サービスにて取得

本製品の取扱説明書と使用方法動画は
下記QRコードからダウンロードいた
できます。



取扱説明書



動画で見る製品情報

株式会社 **モルテン**

健康用品事業本部

www.molten.co.jp/health

東京 札幌 仙台 埼玉 名古屋 大阪 広島 福岡

製品他、各種お問い合わせは

〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目10-97-21

TEL.082-578-9226

E-mail: health@molten.co.jp

〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日 / 9:00～17:00
※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

2022.10